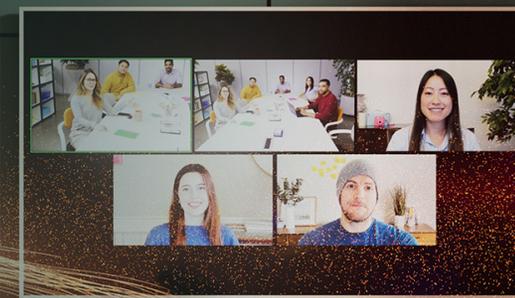


# 過去との決別： 職場体験のモダナイズ



logicool®

組織がオフィスへの復帰、リモートワーク、またはハイブリッドのモデルのバランスを模索する中、時代遅れのテクノロジーや慣習が、生産性を妨げ、コストを増大させるリスクが指摘されています。拡張可能で柔軟性の高いソリューションでワークスペースをモダナイズすると、環境を最新の状態に保つだけでなく、進化する働き方や技術的進歩にも対応できるよう将来にわたって保証します。ITリーダーにとって、会議室ソリューション、ビデオ会議、コラボレーションツールのアップグレードは、チームを強化してコラボレーションを促し、生産性を高めてコストを管理するための戦略的取り組みです。



## AI 革命

モダナイズへの大きな一歩は、AI を活用したビデオ会議とコラボレーションソリューションの採用です。

AI は5年前にはほとんど注目されていませんでしたが、今や最も広く議論され、活用されている技術の一つです。AI を活用していないと取り残されてしまうということは明白な事実です。

会議室やカンファレンスルームは、AI のメリットを体験し始めるのに最適な場所です。ここでの活用は従業員が日常業務で AI を使うことに慣れる助けにもなります。

AI を活用したビデオ会議プラットフォームは、バックグラウンドノイズの抑制、会議室に関するスマートなインサイト、自動カメラ調整などの高度な機能を提供します。これは、さまざまなツールを常にアップグレードしたり、異なるツールを組み合わせたりするよりはるかに低いコストで実現します。一元化された管理ソフトウェアと組み合わせることで企業は効率性を高めると同時に、予算を圧迫する寄せ集めのソリューションを使用せずに済むのです。

AI を活用したツールを使用することで、対面会議と同じように自然で効果的なつながりを生み出せます。自動フレーミング、聞き取りやすい音声、ノイズキャンセリング機能、リアルタイム文字起こしなどの機能が、リモートの従業員とオフィス内の従業員間の距離を縮め、より優れたコラボレーションと一体感のある企業文化を促進します。

AIを活用したビデオ会議ソリューションでのモダナイズには、多くのメリットがあります。

## 会議体験を向上

### より高品質なオーディオ

AI駆動のノイズキャンセリング機能は、タイピング音、ドアが閉まる音、会話、さらには犬の鳴き声などの背景音を除去し、騒々しい環境でもきわめてクリアなコミュニケーションを実現します。

### スマートな音声バランス調整

AI駆動のアルゴリズムがオーディオレベルをリアルタイム調節することで、リモートからの参加者とオフィス内の参加者全員が同じように聞き取れるようになり、より誰も取り残されない会議を実現します。

### 自動カメラ調整

AIが参加者を常に適切にフレーム内に収め、話者を追跡し、ビューを動的に調整して会議中の集中力を高めることができます。

## 生産性を向上

### 気が散る要因をなくす

AIにより、会議中の背景をぼかし、視覚的な混乱を軽減し、集中力を高めます。これにより、リモートワーカーとオフィス内の参加者のストレスが軽減されます。

### 強化されたコラボレーションツール

仮想ホワイトボードやリアルタイム文字起こし機能などが搭載されたAIテクノロジーによって、より効率的にブレインストーミングやアイデアの共有を実施できます。

## アクセシビリティの向上

### リアルタイム文字起こし

AI 駆動のライブキャプション機能によって、聴覚障害がある方や、他言語を話すチームの参加者も会議に参加しやすくなります。

### 言語の翻訳

自動翻訳ツールにより、異なる言語の参加者がスムーズにコミュニケーションできるので、グローバル企業内の障壁が取り除かれます。

## リソース割り当ての最適化

### エネルギーおよびコストの削減

AI は電源設定を自動的に管理し、機器の使用を最適化して無駄なエネルギーを減らすことで、IT 部門の運用コストを削減できます。

### メンテナンスニーズの軽減

AI による予測分析により、業務が中断される前に技術的問題を特定して解決できるため、時間を節約でき、ROI が向上します。

### 管理の合理化

AI 搭載ツールは最小限の設定で運用開始でき、自動的に設定が最適化されるため、導入に際して IT 部門の負担を軽減できます。

### 使用方法に関する評価基準とインサイト

AI 分析によってリアルタイムの使用データが得られるため、IT 部門は機器の割り当てを最適化したり、会社全体での利用率を評価したりすることができます。



# あらゆる環境に適応

## 企業全体への拡張性

AI を活用したビデオ会議システムは組織に合わせて拡張できるため、IT 部門は、ソリューションを世界中の拠点のさまざまな規模のオフィスに柔軟に導入できます。

## オープンスペース向けに最適化

AI により、オープンなオフィスレイアウトでの雑音や気が散る要因が最小限に抑えられ、臨時の会議や予定された会議をより効率的に実施できます。

## スマートな導入

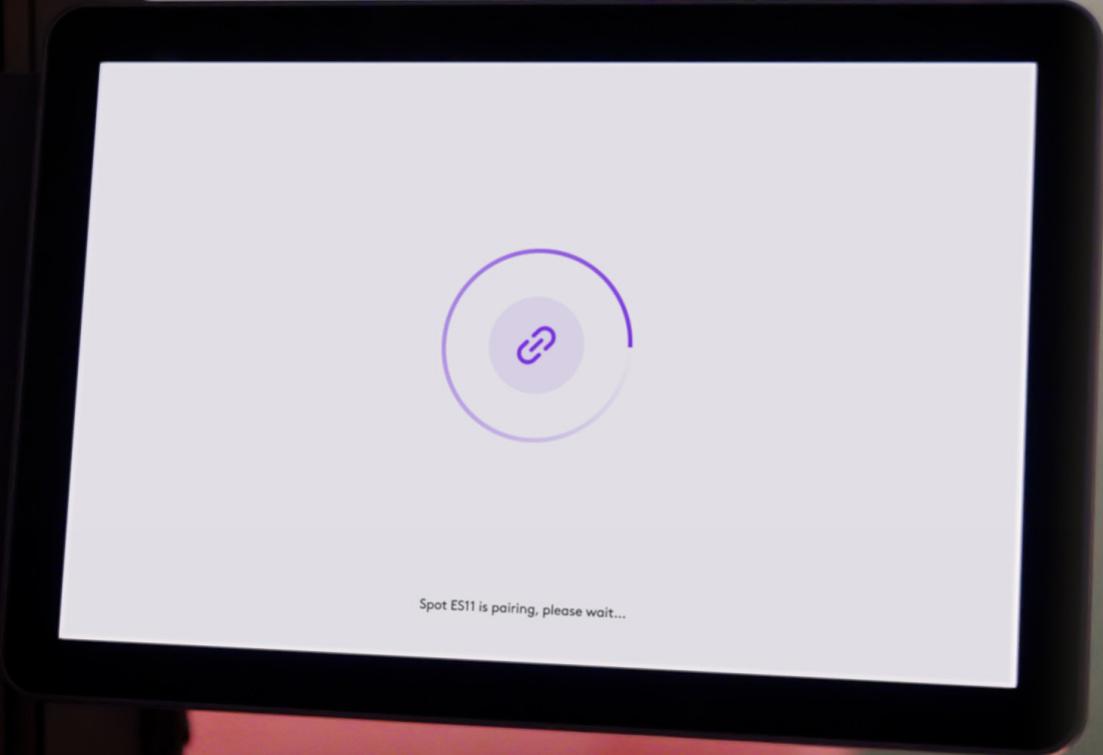
AI を活用したデバイスはさまざまなサイズやレイアウトの会議室にインテリジェントに適応できるため、IT 部門はスペースを柔軟に設定できます。

AI を活用したオーディオおよびビデオソリューションの採用は、テクノロジーをアップグレードする主な方法の1つです。今日導入するソリューションが将来への備えにもなります。



## 部屋のデータを読む： センサーを使用してより スマートでモダンに されたワークスペース を実現

ワークスペースの進化に伴い、センサーは従業員の生産性、コラボレーション、ウェルビーイングを向上させる環境を生み出す強力なツールとして注目を集めつつあります。スマートセンサーは、使用率や環境のデータを活用して、従業員体験に直接的な影響を与えるスペースの活用方法および最適化方法を変革できる実用的なインサイトを提供します。



Spot ES11 is pairing, please wait...

## スペースの利用状況の把握と改善

会議室と共有スペースでセンサーを使用する主な利点の1つは、使用率の推移をリアルタイムで監視できることです。センサーから収集されるデータによって、使用頻度が高いスペースや低いスペース、常に過密状態のスペースなどがわかります。たとえば、ある会議室が常に予約されているものの使用頻度が低い場合、その会議室を別の目的に転用したり、予約ポリシーを見直す良い機会になるかもしれません。利用ニーズの高い会議室については、座席数を増やす、公平な利用を

実現するためのより適切な予約ツールを導入することが有効な場合もあります。**物理的なスペースをより効果的に配分することで、企業は従業員が常に適切なリソースを適切なタイミングで利用できるようにして、ストレス要因を減らすことができます。**

ハイブリッドワーク環境では、従業員は柔軟なスケジュールと動的なワークスペースに頼ることがよくあります。センサーにより、リアルタイムのニーズに適切

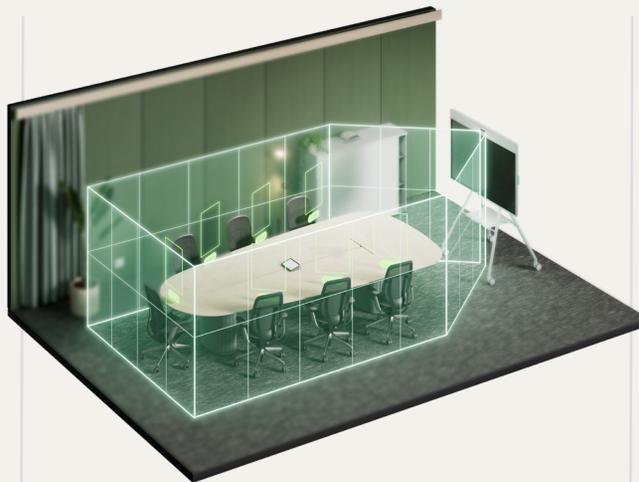
できる環境を生み出せます。例えば、使用率データからピーク時の利用パターンがわかれば、組織は従業員を空きスペースに自動的に誘導する予約システムを作成できます。また、モバイルアプリやダッシュボードとセンサーを連携させることで、従業員はどの部屋が空いているかを確認できるため、会議関連の業務から集中作業へとシームレスに移行できます。



## ウェルネスに最適な環境品質

環境データ（温度、空気の質、照明）を測定するセンサーによって、組織は、従業員の集中力や健康に悪影響を与える可能性のある身体的不快感に対処することができます。

例えば、空気の質が悪かったり、温度が変動したりすると、従業員が疲労したりイライラしたりして生産性に影響を与える場合があります。このデータの警告により、施設管理者は、空調（HVAC）システムの調整や空気洗浄機の使用によって理想的な状態を維持できます。また、照明が暗すぎたり明るすぎたりした場合、管理者はそのインサイトを使用して、会議、コラボレーション、集中力を高めるレベルに照明を調整できます。こうした変更は、スペースをより快適なものにするだけでなく、従業員のウェルビーイング、信頼、および満足度に対する組織の取り組みを示します。



## プロアクティブな問題解決

センサーのメリットで最も見過ごされがちなことの1つは、従業員に影響が及ぶ前に問題を特定できることです。たとえば、センサーは、設備の不具合、または騒音や温度などの問題が高頻度で起こっている可能性のある、使用率が低い部屋を検出できます。早期に介入することで、従業員の不満を軽減しつつ、早期予防的な体制の職場管理を維持できます。

## 長期的な改善のためのインサイト

即座の解決策に加えて、センサーデータは、戦略的、長期的な意思決定にも役立ちます。使用率の追跡から得られたインサイトが、特定のエリア（小さなハドルームや防音個室ブースなど）が他のエリアよりも人気があり、こうしたタイプのスペースへの投資を増やす根拠になる場合があります。あるいは、環境問題対策の流れに沿って、省エネルギーの照明や最適化された冷暖房システムなど、よりサステナブルな取り組みへの転換が奨励される場合もあります。こうした取り組みによって、運用コストを削減しながら従業員の快適性を向上させることができます。

根本的には、センサーテクノロジーは、従業員の身体的および感情的なニーズに応えるよりスマートで柔軟な職場を組織が作り出せるよう支援します。センサーデータから得られるインサイトを使用して、使いやすいスペースを優先し、環境に起因する不快感を減らし、リソースへの公平なアクセスを確保することにより、従業員がサポートされていると実感できるようになり、それがエンゲージメントと生産性の向上につながります。

# TCO の削減：モダナイズに関する財務事例

よくある誤解の1つは、ビデオ会議と会議室のツールをアップグレードすると予算も膨らむということです。その結果、予算面の懸念が障害となる場合があります。新しいソリューションのアップグレードや導入には常にコストがかかりますが、実際には、最新のビデオ会議ソリューションは、直接コストと間接コストの両方を節約する絶好の機会を提供します。その方法をご紹介します。

## 簡単な導入と少ないメンテナンス

従来のシステムは、多くの場合、導入が面倒で手作業での頻繁な更新作業が必要になるため、コスト増加を招き、IT部門の頭痛の種にもなっていました。一方、最新のソリューションの多くは、プラグ&プレイの簡単な接続を考慮して設計されています。高機能な管理ソフトウェアと連携するツールによって、導入をより迅速に、トラブルシューティングをより簡単にして、メンテナンスのコスト効率を高めることができます。

## 出張費の削減

信頼性の高いビデオ会議ソリューションがあれば、従業員は頻繁に出張に出掛けずに済みます。オンライン会議が臨場感あふれるものになれば、コラボレーションの効果を維持しながら、出張予算の大幅な削減にもつながります。

**Digital Samba** 社の調査によると、最新のビデオ会議を利用する企業は、**出張費と会議関連費用を年間で最大30%節約でき**、その削減額が数十万ドルを超える企業では ROI を速やかに向上できるということです。



# ロジクール<sup>®</sup>のソリューションが現代の職場のビジョンに適合する理由

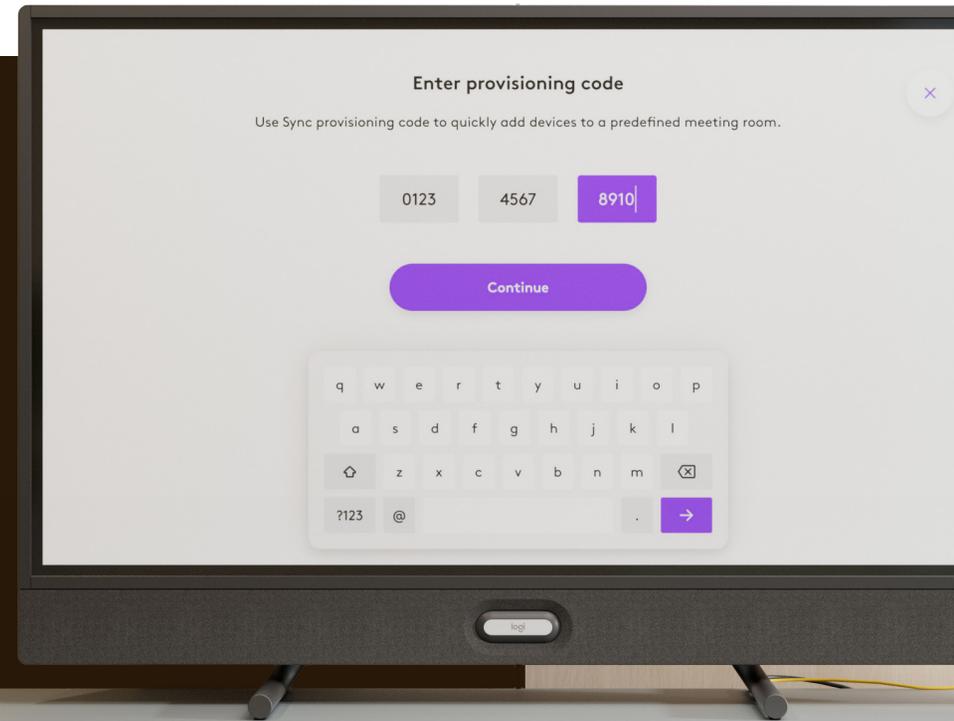
企業がすべての従業員、チーム、スペースに効果的なツールを提供すれば、競争上の優位性を得ることができます – それはとても簡単です。ロジクールのソリューションは、従業員体験の向上、TCO の改善、IT 部門と従業員の負担の軽減など、要件をすべて満たすように設計されています。

ロジクールの傑出したソリューションを以下にご紹介します。

## ロジクール Rally Board 65

ロジクール Rally Board 65（日本未発売）はポータブルな一体型コラボレーションデバイスで、あらゆるスペースを本格的なビデオ会議を備えた会議室に変えることができます。65インチのタッチスクリーンディスプレイを搭載した Rally Board 65を導入すれば、チームはあらゆる場所で、創造性を発揮するコラボレーションを実現できます。

Rally Board 65は、AI 駆動のオーディオとビデオを提供し、あらゆる会議環境で最適なフレーミングと非常にクリアなサウンドを実現します。賑やかなオープンスペースでは、AI を使って背後の動きをぼかし、周囲の雑音を最小限に抑え、音声のバランスを取ることで、気が散る要因や妨げとなるものを排除します。これにより、リモートからの参加者は集中して一体感を得ることができます。Rally Board 65は、壁への取り付け、テーブル上への設置、移動式スタンドとの組み合わせが可能で、オープンスペースと会議室間を簡単に移動させ、あらゆる場面のニーズに応えます。





## ロジクール Sight

ロジクール Sight は、複数の参加者をインテリジェントにフレーミング可能な卓上型コンパニオンカメラです。どこからでも会議室前方と会議室中央からの視点で最適な会議参加者の姿を捉えることができます。複数の角度から参加者の姿を捉えるため、リモートからの参加者は、まるで会議室内にいるかのように感じることができます。

Sight に搭載された2台の4K カメラが、周囲を全方位から捉えます。Sight の上部に設置された7本のマイクは、音響ビームと音源方向探知テクノロジーを利用して、音声はどこから聞こえてくるかをインテリジェントに計測し、話者を特定します。また、デバイス内の高性能プロセッサが、この音声と映像をすべてインテリジェントに捉えてフレーミングし、話者に切り替えます。

Sight の Smart Switching 機能は、AI を活用して会議室前方の会議用カメラ（Rally Bar または Rally Bar Mini）と Sight の連携を自動化します。そのため、誰がどちらの方向を向いて話していても、話者の真正面からの姿を捉えることができます。

## ロジクール Spot

ロジクール Spot（日本未発売）は、ほぼすべてのスペースに導入できる、仕事場の使用率と環境のセンサーです。高度なセンサーを搭載した Spot は、スペースの使用率を検出して会議室の予約を自動化します。環境の状態をモニタリングして、改善策を提案し、企業による職場と従業員のウェルビーイングの改善やエネルギーコストの削減を後押しします。

乾電池式のセンサーは、数秒で壁に簡単に「シールをはがして貼る」ことができ、ワイヤレスで設置できるため、標準的な会議室、フォンブース、柔軟なスペースに適しています。Bluetooth 経由で Tap Scheduler などの CollabOS 対応のデバイスとペアリングするか、ビデオ会議テクノロジーがない会議室の場合は、Long Range Wide Area Network（LoRaWAN）ゲートウェイに接続します。

センサーデータはロジクール Sync 管理ポータルに送信され、IT 部門と施設管理部門のチームが、個々の会議室のパフォーマンスや、すべての会議室の現況を確認できます。Sync は、会議室の健全性とエネルギーのスコアを計算し、空気の流れが最適なレベルを下回る場合、ファンの使用や会議室内の人数の削減など、具体的な提案を行います。それと並行して、レーダー式の人感センサーが会議室の使用状況を検知し、それに応じて自動的に会議室の予約と解除を行います。



# 現代の職場は 最新のソリューションから始まる

現代の職場は、1つの場所や設定されたスケジュールに縛られません。それは、シームレスなコミュニケーションとコラボレーションによって成り立ちます。企業は、高度なテクノロジーと将来性のあるビデオ会議および会議室ソリューションを採用することで、全体的な職場体験を改善してコストを削減しながら、チームがどこにいても力を発揮できるような包括的な環境を作り出すことができます。

ロジクール Rally Board 65、ロジクール Sight、ロジクール Spot についてさらに探索し、これらが組織の職場体験と収益をどのように変革できるかをご確認ください。



logicool for business

[www.logicool.co.jp/business](http://www.logicool.co.jp/business)

右記のリンクからお問い合わせください。

購入前のお問い合わせ：  
株式会社ロジクール  
<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/business/contact-b2b.html>

購入後のお問い合わせ：  
株式会社ロジクールカスタマーリレーションセンター  
<https://prosupport.logi.com/>

©2025 Logitech, Logicool.株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。ロジクール、Logicoolおよびそれらのロゴは、Logitech Europe S.A.および/または米国およびその他の国における関連会社の商標です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に記載されている製品、価格、および機能情報は、予告なく変更される場合があります。

発行：2025年8月